

## 研究参加施設で診療を受けられる皆様へ

研究参加施設では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、以下の問合せ先までお申出ください。

その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

① 研究課題名	RAS-Beppu 分類に基づいた再発リスク別の大腸癌肝転移の治療選択		
② 実施予定期間	当院の実施許可日から 2028年12月31日		
③ 対象患者	当院で④対象期間に大腸癌肝転移に対する初回肝切除を受けた方を対象とします		
④ 対象期間	2015年1月1日 から 2023年12月31日 (追跡期間：当院研究実施許可日まで)		
⑤ 研究機関の名称	別添参照		
⑥ 対象診療科	消化器・腫瘍外科学		
⑦ 研究責任者	氏名	高橋 秀典	所属 山口大学医学部附属病院消化器・腫瘍外科
⑧ 使用する情報等	遺伝子情報、年齢、性別、身長、体重、肝転移診断日、診断結果詳細、原発巣に関する情報（部位や手術日など）、初回肝切除治療に関する情報（手術日、術式、根治度、術後合併症の有無、退院日など）、術前・術後化学療法の有無と治療内容、再発の有無、予後など		
⑨ 研究の概要	<p>大腸癌肝転移の治療では、肝切除が有効ですが、術前化学療法の明確な適応はありません。これまで私たちの研究チームでは、再発リスクを予測するBeppu分類や、RAS変異を加味したRAS-Beppu分類を確立し、より高い精度で再発リスクを分類できることを報告してきました。特に再発高リスクの患者さんでは術前化学療法が有効で、生存期間の延長が確認されています。本研究では、RAS-Beppu分類に基づいた治療成績を検討することを目的としています。これにより、患者さんごとに最適な治療法の選択が可能となり、不要な化学療法を避け、予後の改善につながることを期待されます。過去に診療を通じて得られた情報を用いて研究を実施するため、患者さんに新たな検査や調査をお願いすることはありません。</p> <p>本研究では、研究機関の長の許可日より研究代表機関へ情報提供を行います。当院からの情報提供の際に、氏名等を削除し、個人が特定できないよう加工するため、患者さんのプライバシーは守られます。</p>		
⑩ 実施許可	研究実施許可日	年	月 日
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては以下の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で公表します。		

⑬ 個人情報の保護	結果を公表する場合、個人が特定されることはありません。		
⑭ 知的財産権	九州肝臓外科研究会に帰属します。		
⑮ 研究の資金源	山口大学医学部 消化器・腫瘍外科学講座の奨学寄附金		
⑯ 利益相反	ありません。		
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	山口大学医学部附属病院 消化器・腫瘍外科 担当者：中島 正夫		
	電話	0836-22-2264	FAX 0836-22-2263

研究代表者

増田稔郎 山鹿市民医療センター外科長

研究参加施設と研究責任者

佐賀県医療センター好生館 外科	三好 篤
宮崎大学医学部外科学講座 肝胆膵外科学分野	七島 篤志
九州大学消化器・総合外科	吉住 朋晴
佐賀大学医学部一般・消化器外科	井手 貴雄
山口大学大学院医学系研究科消化器・腫瘍外科学	高橋 秀典
国立病院機構 九州医療センター 肝胆膵外科	播本 憲史
福岡大学消化器外科	梶原 正俊
大分県立病院 外科	宇都宮 徹
琉球大学 消化器・腫瘍外科学講座	高槻 光寿
熊本大学 消化器外科	林 洋光
大分大学 消化器・小児外科学講座	増田 崇
鹿児島大学消化器外科	川崎 洋太
久留米大学 肝胆膵外科	久下 亨
長崎大学	江口 晋
鹿児島厚生連病院 消化器外科	迫田 雅彦
長崎医療センター 外科	黒木 保
北九州市立八幡病院 外科	岡本 好司
済生会熊本病院 外科	今井 克憲
敬愛会 中頭病院 外科	砂川 宏樹